

## 知っていますか？ 福岡教育大その2

学長と、学長の選んだ委員ですべてが決まる

2004年 国立大学が独立行政法人になる。その結果、

決定権は、学長と、学長指名の理事兼副学長4人の役員会に。

教授会や評議会、講座の会議などの議論を無視した運営へ。

**学長選考の問題** 2009年は選挙で寺尾氏が学長に。

しかし、その後は学長が指名した選考会議が、学長を選出。

2013年 寺尾学長の続投決定

教職員の意向調査（いわゆる全学投票）では寺尾氏88票、N学部長123票

学長選考会議（内部委員5、外部委員5□宗像市長、県教育長も）は寺尾氏を選出

2015年 次期学長に櫻井氏（2016年～2019年）

10月13日に突然公示 候補者推薦は26日締め切り

副学長櫻井氏と元東京学芸大学学長鷲山恭彦氏（有志推薦）、意向調査はなし

2019年 寺尾・櫻井氏の方針を支持し継承する飯田氏（現学部長）と、

現在はきわめて不十分な「学内の対話」と「情報開示」を約束する

江頭理江（英語教育）氏が次期学長候補者に。

学長選考会議は飯田氏を選出。

なお飯田氏の所信表明には「教員を厳正に評価」「人事考課」の文言が頻出。



こんなことも起こっています

2014年 ○職員懲戒等規定の変更

職員の懲戒は教育研究評議会で慎重に審議し投票で決定していたが、  
今では学長指名の役職者のみが、密室で決定。

○研究科長の選出規程を変更

教授会では総数122票、賛成15、反対96、白票10、無効1

しかし、直後の教育研究評議会で、学長が投票を認めず、規程変更を強行決定。

○教授会を経ず教員を採用する特例制度を強行

評議会での投票はなし。

「福岡教育大学の未来を考える名誉教授の会」

連絡先(e-mail) : fue\_mirai\_emeritus@ina.bbiq.jp